

東京外国語大学 国際関係研究所 主催 連続講演会シリーズ「現代世界と国際関係」

アンテナを張ろう！考えよう！ ODA の使い方 ～え？私たちの税金が軍事目的に使われる？～

5月27日（火）の『国際協力概論』（4限 209教室）では、ODA改革ネットワーク事務局の内野香美氏を講師にお迎えして、このテーマについてお話しいたします。
みなさん、日本の納税者の一人として、ODAの使い道を一緒に考えてみませんか？

講師：内野 香美（うちのこうみ）氏 （ODA改革ネットワーク事務局）



【プロフィール】

平成2年に青年海外協力隊（セネガル：野菜栽培）に参加したのち、サヘルの子（現在のサヘルの子の森）、西アフリカ農村自立協力会などのNGOスタッフとして、マリ共和国で活動。1993年 アフリカ・シンポジウム実行委員会・事務局次長として第1回アフリカ開発会議（TICAD）にアフリカと日本の人びとの声を政策提言として届ける。NGO活動のかたわら、JICA 専門家・コンサルタントとしても、セネガル、マダガスカル、ブルキナファソなどの開発プロジェクトを担う。マリの情勢が厳しくなった2013年には『ディアマリの会』というグループでマリ情勢を外務省と検討する行動をスタート。現在、日本のNGOで構成する『ODA改革ネットワーク』事務局にてアドボカシー事業を展開。

日時：2014.5/27 火 14:20～15:50

会場：本学研究講義棟 209 教室

意見交換会（720室）16:00～17:00

日本の政府開発援助（ODA）は、これまで国際社会の平和と発展に貢献するという崇高な目的を掲げ、多くの実績を積み重ねてきました。その柱となっているのは、現行のODA大綱（2003年改訂）に謳われている「軍事的用途及び国際紛争助長への使用を回避する」という原則を順守する姿勢でした。ところが日本政府は、「積極的平和主義にもとづき」今年度よりこの内容を見直す方針を打ち出しています。平和利用を堅持する原則が撤廃された場合、日本のODAはどのように使われることになるのでしょうか？

一般公開
事前申込不要



【お問い合わせ】

東京外国語大学 国際関係研究所 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
E-mail: iir@tufs.ac.jp 電話: 042-330-5480 Fax: 042-330-5481

